

「みえ産業振興戦略」の改訂  
伊勢志摩サミットを契機とした産業の  
ステージアップに向けて

平成28年2月22日

三重県

### 議論の ポイント③

将来像の実現に向け、7つの戦略に基づき、具体的な施策を実施していく。

### 議論の ポイント②

レガシーを生かし（繋ぎ）、めざすべき将来像を描く。

### 議論の ポイント①

- 伊勢志摩サミットが三重県に残すレガシー
- 伊勢志摩サミットで三重県が仕掛けて残すレガシー

### 伊勢志摩サミット開催による「レガシー」3つの視点

①知名度の向上 ②会議自体の成果 ③地域の総合力向上

# 伊勢志摩サミットを契機とした産業のステージアップに向けて

議論の  
ポイント①

サミット開催による  
レガシー(案)

議論の  
ポイント②

進化した三重県の  
将来像(案)

議論の  
ポイント③

進化に向けた  
事業展開(案)

戦略①  
新たな県の成長を導く  
産業の創出・育成

●次世代自動車・航空宇宙産業といった先端産業をはじめ、四日市公害の経験の中で培われた環境技術等を有する産業集積地として世界に評価される。

●県内企業が自らの技術を活用し、航空宇宙産業など先端産業の発展や環境問題が顕在化しつつある新興国等の課題解決に貢献し、グローバルな経済活動が展開されている。

●海外も見据えたマッチング機会の創出  
●三重県での環境保全等に係る国際会議の開催  
●航空宇宙産業、環境・エネルギー関連産業の競争力強化

戦略②  
ものづくり戦略

●次世代自動車・航空機・電子部品など、三重県の有するものづくり技術が世界に評価され、ものづくり技術の先進地としての誇りが育まれる。

●チャレンジングな技術革新が図られ、イノベーション、新たな価値が創出され続ける地域となり、日本のみならず世界のものづくりを牽引している。

●オンリーワン技術の確立に向けた試作・開発支援  
●大手企業と中小企業との技術交流など外部連携の促進による地域としての競争力向上  
●次世代を担う国際性豊かな技術人材の育成

戦略③  
サービス戦略

●伊勢志摩サミット開催による観光地としての評価、三重県の誇る「食」への評価の高まり。  
●外国人旅行者の受入に向けた取組の成果が地域に継承される。  
●世界最高峰のMICE（主要国首脳会議）を成功させた経験や誇り。

●国際観光都市としてのブランドカや「食」のブランドカ、MICE開催地としての地位が確立し、日本の原風景と言われる自然や豊かな「食」などを求め、国内外から人々が訪れる。

●欧米市場・富裕層市場へのアプローチ  
●英語での接客など外国人旅行者をもてなすホスピタリティ人材の育成  
●「食」に係る商品戦略の立案や域外への販路拡大に対する支援  
●三重県版MICE戦略に基づくMICEの誘致活動

戦略④  
県内への投資促進

●伊勢志摩サミットの成功により、三重県が安全・安心に活動できる地域、次世代自動車・航空宇宙産業など高いポテンシャルを有する産業集積地として認識される。

●ものづくり、サービスなどあらゆる産業の投資先として、国内外から三重県が選ばれる。  
●県内企業と外資系企業との交流が促進され、グローバルな経済活動が展開されている。

●更なる県内投資の促進に向けた誘致活動  
●政府・政府関係機関（JETRO等）と連携した誘致活動  
●外資系企業のニーズに迅速に対応する体制の整備



# 伊勢志摩サミットを契機とした産業のステージアップに向けて

議論の  
ポイント①

サミット開催による  
レガシー(案)

議論の  
ポイント②

進化した三重県の  
将来像(案)

議論の  
ポイント③

進化に向けた  
事業展開(案)

戦略⑤  
中小企業  
小規模企業  
振興

- 地域を支えている中小企業・小規模企業の果たしている役割が伊勢志摩サミットを通して、再認識されるとともに、企業自身が自らの活動に誇りを持つ。
- 伊勢志摩サミットを通して、中小企業・小規模企業の製品・サービスが世界に評価される中、世界の中の三重という意識を持ち、海外との距離が縮まる。

- 三重県のブランド力が国内外で高まり、輸出・インバウンド等を介した販路が拡大することで、本県の経済、社会を支えている中小企業・小規模企業の活動が活発になっている。

- 伊勢志摩サミットを契機として、新たな事業展開を図ろうとしている中小企業・小規模企業に販路拡大などへきめ細かな支援

戦略⑥  
ひとづくり

- 世界中の人々が集うことにより世界の多様性を尊重するマインドや国際社会への理解が促進される。
- 伊勢志摩サミット開催にあたり、地域が有するアイデンティティ、文化等を再認識する中で、地域への愛着・誇りが育まれる。

- グローバルスタンダードな観点で企業活動に携わりながら、地域のために貢献できる人材が県内で活発に活動している。

- グローバルな視点を持った経営人材の育成や起業の促進
- 英語での接客など外国人旅行者をもてなすホスピタリティ人材の育成(再掲)
- 次世代を担う国際性豊かな技術人材の育成(再掲)
- 成長が見込まれる分野など、産業の動向に呼応した人材の育成

戦略⑦  
域外(国内外)  
とのネットワーク  
構築・活用

- 伊勢志摩サミットの成功に向け育まれた域外とのネットワーク。
- 伊勢志摩サミットを成功させた経験やノウハウの蓄積。

- 本県の有するネットワークやサミットの経験を呼び水に、国内外を問わず人や情報が流通することで、集客のみならず、ビジネスや研究環境の向上など地域の競争力が向上している。

- サミットを契機とした本県の競争力強化に資するネットワークの構築・強化
- 世界経済のリーダーが集う国際会議の誘致
- 次世代を担う学生の国際交流の推進
- 国際物流ハブ等のネットワーク活用による海外市場の獲得